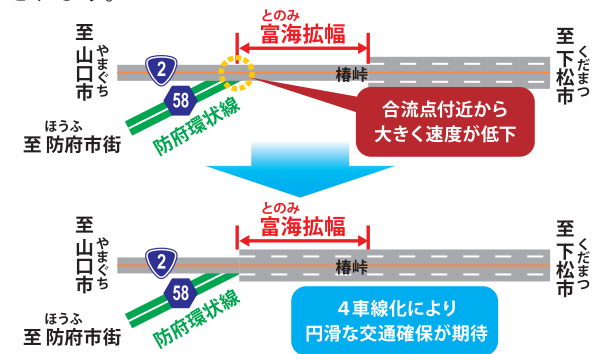


富海拡幅の整備効果

①円滑なモビリティの確保

富海拡幅区間（2車線）は、1日あたり約2万7千台の利用があり、ボトルネックとなっています。そのため朝ピーク時間帯においては上り方向で防府環状線の合流点から富海交差点付近で速度低下が発生しています。

富海拡幅の整備に伴う4車線化により、国道2号の交通円滑化が促進し、渋滞の緩和、定時性の確保が期待されます。



②安全安心の確保

事業区間全体では追突事故や正面衝突、車両単独事故が多く、線形不良箇所付近では重大事故が発生しています。

富海拡幅の整備に伴う混雑緩和により、車両の急減速挙動等が解消され、追突事故の減少が期待されます。また、中央分離帯設置に伴う上下線の交通分離や線形改良により、正面衝突やすれ違い時事故の減少が期待されます。

現道における正面衝突事故発生の様子



③幹線道路ネットワークの強化

現在2車線の富海拡幅事業区間では過去8年間（平成26年度～令和3年度）で9回の通行止めが発生していますが、隣接する戸田拡幅区間（4車線化完了）では上下線通行止めは0回です。富海拡幅の整備により事故等に伴う上下線通行止めの回避が可能となり、大規模災害発生時の広域的な活動拠点となる防災道の駅（道の駅「ソレーネ周南」）との移動経路の強化が期待されます。

国道2号の通行止の発生状況（平成26年度～令和3年度）



④観光振興の支援

周南市と防府市は平成20年より観光振興協定を締結し、両市への観光誘客に努めています。

富海拡幅の整備により防府市～周南市間の移動がスムーズになることで、施設間の連携が活性化し、周遊型観光の促進が期待されます。

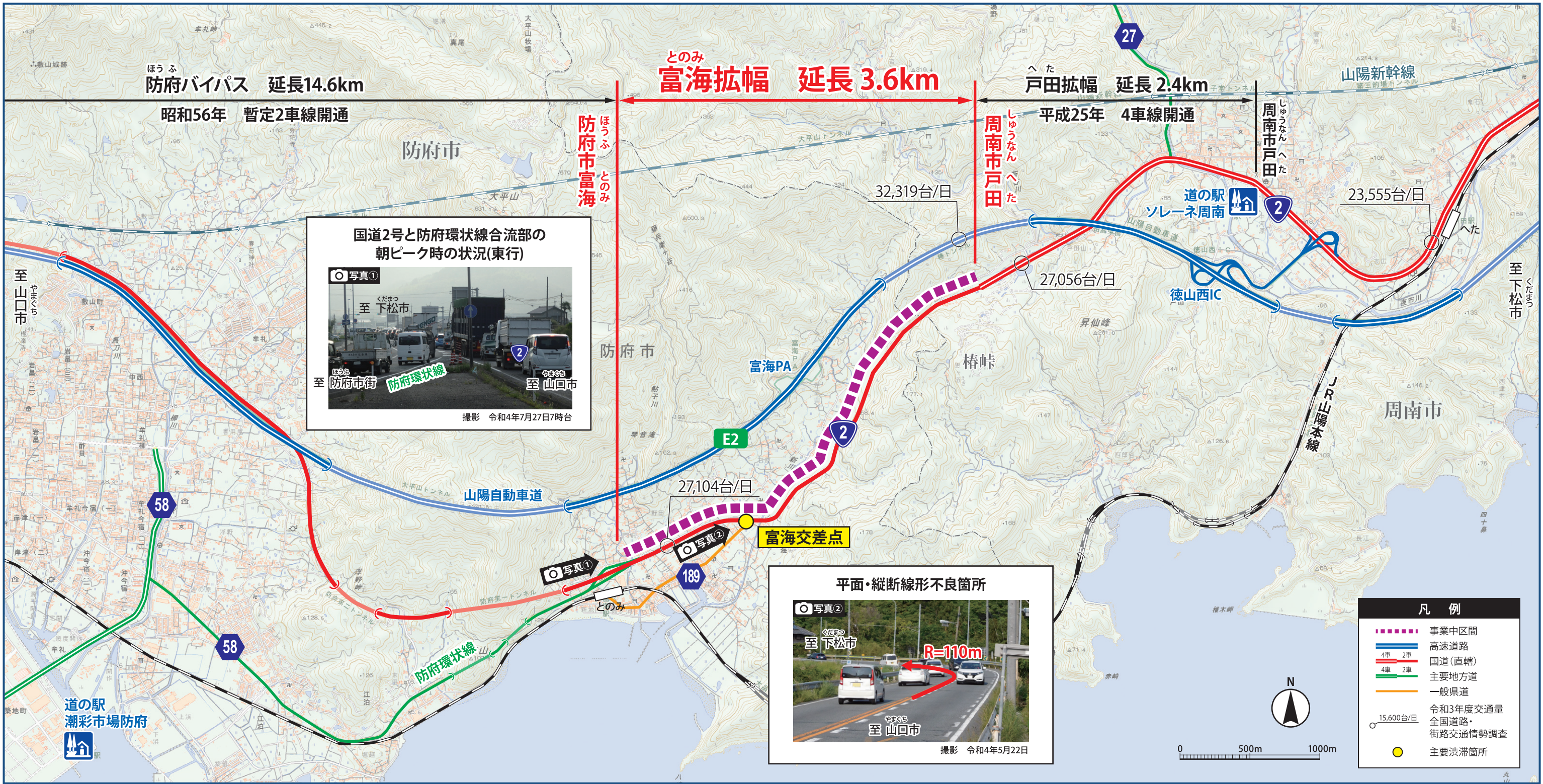


一般国道2号
とのみ



富海拡幅





測量法に基づく国土地理院長承認(複製) R 5JHf 430 本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

富海拡幅の概要

一般国道2号は大阪市を起点とし北九州市に至る延長約680kmの主要幹線道路です。富海拡幅は、山口県周南市戸田から防府市富海に至る延長3.6kmの現道拡幅事業です。

東側の戸田拡幅(4車線開通済み)、西側の防府バイパス(暫定2車線開通済)とともに山口県周南市～防府市間における交通混雑の緩和、交通事故の削減、地域経済の活性化に寄与します。

位置図



計画概要

事業名	一般国道2号 富海拡幅
延長	3.6km
起点	山口県周南市戸田
終点	山口県防府市富海
道路区分	第3種第1級
設計速度	80km/h
事業化年度	平成23年度

標準断面図

